

公表日

2025年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら流山教室

保護者等数(児童数) 17名

回収数 15件

(割合88%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	0	0	0	外遊びやレクが出来ているので充分です。	メイン教室と共に、別部屋もあるので、環境を生かして活動してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	0	子どもから聞いている限り適切だと思います。	余裕のある職員配置を行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	1	1	階段が急だと思う。	階段の危険箇所については改修工事を行い安全に昇降できるようにしました。マンション共有部分で手すりをつけるなどの対応ができないため、指導員が介助を行うなど危険回避に努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	15	0	0	0	いつもきれいです。	今後も清潔に保ち、児童が落ち着いて行動できる環境設定をしております。
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2	0	0	心理士さんが在籍しているより特性に応じた支援がなせると思います。	現在心理士の在籍はありませんが、今後の参考にさせていただきます。お子様の特性や課題を基に、よりよい支援を今後も考えてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0		公表プログラムに沿って、日々支援を行っています。どのような活動なのか、分かりやすいプログラムを心がけます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0	困りごとを言語化していただき助かっています。	今後も児童本人と保護者様のニーズを伺い、個別支援計画を作成してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0		ガイドラインに基づき個別支援計画を作成し、分かりやすく説明してまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		個別支援計画に沿った活動プログラムを、今後も考えてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	0	いつも楽しい活動を考えてくださりありがとうございます。	あえて継続支援している活動もありますが、子どもたちが楽しく参加できるように、活動を今後も設定してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	2	6		児童クラブや児童館と交流する機会は設けておりません。公園や外出プログラム等では適切に関われるよう支援しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		契約時にできる限り詳しく説明を心がけていますが、ご不明点を伺いながら、より分かりやすい説明を行います。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		今後も分かりやすく説明できるようにしていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	0	0	0		子育て勉強会やペアトレを年に数回開催しています。今後も継続して行います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1	0	0		送迎時やリトム、LINE連絡、電話連絡などを通して、今後も保護者様と連絡を取ってまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	0	0		面談は定期的に行っていますが、ご要望に応じていつでも面談や相談等の機会を設けております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1	0	0	支援が必要な子育てをしていると職員の皆様共感、同調は大変励みになります。ごなたも親身で救われます。	今後も、児童本人と、保護者様の気持ちに寄り添い、支援ができればと思っております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	0	0	0		昨年、系列の教室も含めた父母の会を発足しました。懇談会も、保護者様の情報共有の場になれるよう、定期的に行っています。ご家族にご参加いただけるイベントも、複数開催しています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	0		送迎時やリトム、LINE連絡、電話連絡を通して、いつでも相談支援を行っています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0	疑問や相談にのってくれています。	いつでも情報伝達できるように、環境を整えています。ご連絡いただいた事項については、早急に対応しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	0	ブログ楽しく拝読させてもらっています。	年4回のお便り発行と、グループLINEやSNSにて活動の様子など掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		個人情報保護法の指針や守秘義務に則り、職員一同取り扱いには十分注意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	0	0	各マニュアルの説明をされた記憶がないですが、日ごろの様子から防止に努めていると思います。運転講習の件ブログで見て安心しました。	様々なマニュアルを作成しています。感染症対策委員会からは、定期的に情報発信を行い、昨年度から感染症予防のためにお便りの配布も始めました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	0		災害の発生に備え、地震・火災に対応する避難訓練を、定期的に行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0	よく見てくれると思います。	緊急カードを作成し、緊急時の避難場所や連絡方法などを分かりやすく表示しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	1	何かあればお話してくれています。	怪我等の事故が起こった際には、保護者様にご連絡をしております。今後も速やかな連絡を心がけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0	安心できる場所で楽しんでいます。	今後も安心感をもって通ってもらえるように、信頼関係を築けるように職員一同研鑽してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0	6年間通う事を楽しみにしています。すごく楽しみにしています。	今後も楽しく通ってもらえるよう、個々のレベルや課題にあったプログラムを考え、工夫して行います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	2	0	0	親身になってくれています。	児童と保護者様に寄り添った支援を目指し、事業所の療育に満足いただけるよう職員の研鑽を行ってまいります。

公表日

2025年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 流山教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	室内は広く、活動に応じて別部屋を開放したりと考えている。	身体の大きい子が増えたので狭く感じる。教室の使い方をより考えながら活動したい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	十分に職員数が配置されている。	時折、指導員が多すぎると感じる。児童同士の関わりを持てるように、指導員の介入に関しては再検討したい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	児童によって環境を変えている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	日々送迎終了後清掃している。	物置スペースの整理が不十分。見えない部分の整理整頓に努めたい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	部屋数は多く、児童の状況に応じて別部屋の使用も可能。	部屋間が離れていて、活動の最中など、完全個別対応ができない事もあるのでルールや使い方の見直しは必要。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	終礼時に振り返りを行っている。定期的にミーティングを行って、業務改善に取り組んでいる。	教室の休みが少なく、児童が多いとミーティングには全員が参加できない。紙媒体での情報伝達も遅れがち。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	評価表をまとめたものを保護者会等で伝えている。	項目によっては、対応に時間がかかるものもあるが、できる限り迅速な対応に努めていきたい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	月に1回ミーティングを設けている。	意見がつかぬこともあるが、急速に決まる事もある。職員数が増えたが、多くの職員で納得感のある改善を行いたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	実施していない	今後の検討事項。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	月に1回社内で研修会が実施されている。外部研修の案内もされている。	多機能型のため、午前午後も児童がおり、職員が外部の研修に行く時間の設定が難しい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	活動の目的や、五領域を網羅するように明記して作成している。	児童の課題に対し、今後も適切なプログラムの提供ができるように職員間で連携していく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	日々の活動を記録し、保護者との面談を通して作成している。	今後も児発管・職員間の情報共有を行い、ニーズや課題点を共有する。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	保護者との面談に職員も入り、検討共有して作成している。	検討時の時間確保と時間短縮が課題。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	記録にまとめて全員が目を通せるようにしている。	計画に対してどのように活動計画をたて、療育を行っていくか、今後も職員間で連携を取る。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	利用者から提供されたアセスメントツールの結果も共有し児童理解に努めている	アセスメントツールも継続利用して、適応行動を判断する。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	本人支援や家族支援・移行支援が漏れなく入っており、具体的に設定されている。	今後も児童の状況やご家庭の状況に合わせて、適切かつ具体的な支援を設定できるようにする。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員から案をだしてもらい、作成している。	今後も職員と児発管が連携し、適切なプログラムを作成していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	月の中で、週毎に五領域を網羅するように活動を入れている。	今後も固定化しない工夫を加えていく。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団活動の中で個別対応が必要な場合サブの職員が対応している。	集団療育の中で、個別支援が提供できる環境を考え実行していく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	職員間で協力しながら打ち合わせを実施している。	事前に確認しているが、より細かな確認連携が必要。午後出勤の職員もあり、時間の捻出が課題。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終礼時に活動の振り返りを実施している。	時間が長くかかりすぎる時がある。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	個別に療育記録を作成している。	児童の様子が分かりやすいように、記録の質をさらに上げていきたい。
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	児童カンファレンスの内容を加味しながら見直しを行っている。	今後も児童の状況に合わせて早めのモニタリング・支援計画の見直しを行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	5	0	適切に組み合わせず活動を行っている。	職員によって理解度に違いがある、職員研鑽に努めたい。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	4	1	会議形式の活動を通して自ら選んで意見を出せるように支援している。保護者の要望もあるので本人の意思は人や家庭によって違う。	児童の理解力に合わせて課題設定をし、自己決定できる環境をより整えていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児発管に職員が帯同して参画している。	今後も関係機関連携を進めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	特定の医療機関と連携している。実施しているのあまり見たことがない。	時間的な制約もあり、連携の場面は児発管のみ参加が多い。多機能型のため、時間の捻出が課題。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	電話やLINEで保護者と連絡を取っている。	全ての小学校と連携が取れているわけではない。保護者を通じての連絡がメイン。今後も事業所側からの働きかけをしていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	希望者のみ連携を取っているが、希望者以外とは連携等取れていない。	年長児は必ず聞き取り調査を行うなど、体制は整えていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5	実施していない	現在、小学生児童の在籍のみで、情報提供の機会がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	児童発達支援センターと定期的に連絡を取っている。連携は図っているが、スーパーバイズは受けていない。	連携の機会を増やしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	外部の児童と触れ合うことはあるが、積極的に活動の機会は作っていない。	児童館には利用を断られたこともある。調整が難しいが検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	児発管が協議会へ参加している。多機能型のため、午前午後も児童がおり、職員の参加は難しい。	どのような協議が行われたか、児発管から職員に分かりやすく伝えていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	面談以外にも送迎時に保護者にお伝えしている。	連絡帳の書き方等、職員によって差異がある。統一は難しいが、できる限りとおの得ていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	定期的にペアレントトレーニングや子育て勉強会を実施している。	回数自体が少ないので、機会を増やしていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時、また規定が変わった際に都度説明している。	変更時の即日対応には難しさがある。スピード感を重視していきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談時に説明している。	面談もオンラインなど駆使して、保護者様のニーズに沿いつつ丁寧な説明を行ってきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	面談時に保護者と共有して計画に反映している。	送迎時に時間がなく、簡潔に説明することもある。問題点は必ず確認できる体制を整えたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	電話で相談対応したり、必要に応じて面談を実施している。	相談等は今後も即日対応を心がける。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	親子交流スポーツデイを実施し、兄弟家族が交流する機会を設けた。	全体参加の機会は作りたいが、担当職員の負担が膨大であった。時間に余裕を設けて、実施していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	セラピスト個別相談を実施している。	出勤職員によっては、即日対応ができないことがあるが、職員の育成に努めている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	紙媒体で定期的にお便りを発行している。	より見やすい形での情報発信に努める。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	情報物の取り扱いについては、必ずオリエンテーションを行い、職員の意識を高く持てるようにしている。	今後も留意していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	相手に合わせて電話かLINEで対応か工夫している。	今後も対応の工夫を続ける。

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	行事には保護者と家族しか呼んでいない。	今後お祭り等の行事に地域の方を招待する、規模を広げるかは検討。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各委員会を設置し、周知及び訓練を実施している。	マニュアルの周知は課題。感染症については、定期的にお便りを出している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	災害別に分けて訓練を実施している。	職員のBCPの理解度を上げたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	アセスメントシートに記載して、全体共有している。	引き続き共有していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	5	記載事項無し	現在アレルギーのある児童の食事対応は無いが、情報は共有している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、適切な研修や訓練も行っている。	今後も安全管理の意識を高く持って療育に当たっていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	災害に応じた避難先と連絡先を明記したカードを保護者に配布している。	管理者や車両の変更に伴い、避難カードの見直しなど今後も適切に行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	ヒヤリハット報告書を作成している。	改善まで至っていない事もあるように感じる。細かな点も再検討が必要。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	防止委員会を設置している。	職員間で虐待防止への意識を強く持てるよう、今後も研修機会を持ちたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0	5	現時点で実施無し。今後実施の必要があると感じる児童が入った時に本当に実施に至るのか疑問がある。	対象の児童が入所後に記載を確実にを行う。